

# 「診断と目的を持った治療のための可視化」 セミナー

“実例を用いた体内、体外画像を組み合わせることで深まる理解”



- 講師 Dr.Franz Landauer (フランツ ランダウアー)医学博士  
整形外科上級医師、義肢装具士マイスター  
オーストリア義肢装具士協会 (ISPO) 会長
- 日時 2020年3月14日(土)10:00~17:00、3月15日(日)9:30~16:00
- 会場 公益財団法人 大学セミナーハウス(八王子)
- 募集人数 40名
- 協力 (株)GOZO  
臨床歩行分析研究会  
江原義弘 新潟医療福祉大学教授
- プログラム 別紙参照
- 参加費 セミナー ¥40,000(2日間の昼食含む)
- 懇親会 3月14日(土)セミナー終了後  
参加費 ¥5,000(お食事と飲み物)
- 宿泊 希望者には会場敷地内の宿泊施設を斡旋致します。(数に限りがあります)  
¥5,500~¥6,600 (朝食希望者別途¥627)
- 申込み 別紙の申し込みフォームを用いて e-mail または FAX でお申込み下さい。
- 主催 OSM クレメンス ハーゲン  
HM SAPERE
- 問い合わせ HM SAPERE ハーゲン愛美まで  
電話 090-1865-6917 FAX 0261-62-9919  
e-mail: hmsapere-seminar@yahoo.co.jp

## 診断および目的を持った治療のための可視化

**足部の胚発生:**生涯にわたる愁訴のない活動の起点

病理学: 症例: 複雑な奇形の連合(出生前診断で発見され、中絶適応となるため、このような症例は現在ではみられない)、中足骨短縮症、マイナス変異、その他。

**年齢に依存した生体力学:**小児から成人まで: 下肢の長軸(O脚からX脚まで、そしてその逆)。代償メカニズムとしての回旋と足部。個々の組織における年齢に依存した耐荷力と描写の可能性。

なぜ私達は「足部がどんな年齢においても同じである」と考えるのか? どの異常が増大し、どの異常がそうではないのか(比較: 小児骨折において、どの軸の異常が増加するのか - 成人の場合には、それは全く該当しない)。

**足部の視覚化:**

**レントゲン画像:**「描出誤差」太陽の位置によって変化する人の影のようなサイズの歪み。撮影中の下肢の回旋に依存した「縦アーチの描出」。回旋位に依存した「下肢の長軸」。「軟部組織の評価」、特に肥満者撮影においては頻発する問題。

**コンピュータ断層撮影(CT):**骨部の視覚化が目的。X線照射で密度依存性画像を撮影する。元のデータ記録をフォーマットする前であれば、3D再構築が可能。また負荷下の撮影も可能(しかし価格的な問題がなかったとしても、現時点では専用装置の利用は難しい。)

**核磁気共鳴画像法(MRI):**名前が示しているとおおり、磁場を作用させ、電子スピンの物質依存性の変化を画像の計算に使用する。そのため、軟部組織または浮腫(体液貯留)などの視覚化に特に適している。例: 距骨離断性骨軟骨炎(伸張、位置、ヒールの高さ、その他)。疲労骨折と画像描写の可能性、モートン神経腫と鑑別診断

**スキャン技術:**現時点では表面的描写にのみ適して。個々の技術の集結に取り組んでいる段階。

**歩行分析:**運動の視覚化。技術的な問題で日常的に使用する段階にはない。

ザルツブルグの画家および彫刻家であるオスカー・ココシュカは「見る学校」を設立した。「認識して割り当てることができる」のは大きな課題であることがわかる。

**治療における時間的要素:**その損傷はいつ発生したのか? 治療に最適な時点はいつか? 保存療法が有効でなくなるのはいつか? 外科手術が適応となるのはいつか? 外科手術から靴療法まで:

多くの外反母趾の外科手術は、靴による圧迫をなくすために行う。外科手術によって靴療法が容易になる。

足部に複雑な変形がある場合、外科手術により歩行が大幅に改善される可能性があり、靴療法もより容易になる。

**基礎疾患の兆候としての足病変:**

尖足: 尖足はどの時点から神経障害の兆候とみなされるのか? 凹足/重度の凹足: 神経学的基礎疾患であるシャルコー・マリー・トゥースおよびその他の遺伝性ニューロパチー(HSMN)の疑いがある。初期の多発神経障害としての足部感覚障害(糖尿病?)。皮膚の変化: 多発神経障害、複合性局所疼痛症候群、代謝性疾患(痛風)、軽度の水疱形成を伴う脆弱性(表皮水疱症)、その他。

**脚長差:**

実際の脚長差。機能的脚長差。脚長差/骨盤傾斜/仙骨傾斜角度(これらにより、骨盤のねじれを観察する)。脊柱側弯症の原因: ボトムアップまたはトップダウン。脊柱側弯症の概念: Euler 座屈の理論/テンセグリティ/有限要素モデル。スパイラルダイナミクスというテーマは説明モデルとなる。

**機能障害に関する知覚連動についての概念:**

感覚障害、上行性神経線維の損傷、脊髄神経の切替、下行性神経枝、筋、腱

全機能サイクルが完全でなければならない!

\* 時間的制約などのため、プログラムは予告なく変更される場合がございますので、予めご了承下さい。

## 講師プロフィール:

Dr. Franz Landauer フランツ ランダウアー 1957年オーストリア ザルツブルグ生まれ  
整形外科上級医師、義肢装具士マイスター

経歴: 1972-1981 ザルツブルグにて義肢装具士見習い、専門学校(ギムナジウム)へ就学

1981-1988 インスブルグにて医学研究(論文:細胞生理学)

(1985-1988 細胞生理学分野博士課程、インスブルグ大学病院 生理学研究所)

1992-1996 インスブルグにて整形外科専門医研修

1996-2002 インスブルグ大学病院 整形外科上級医師に就任

2002-現在 パラケルスス・ザルツブルク私立医科大学病院 **整形外科部門最高上級医師**

資格: 1988 義肢装具士マイスター資格取得

2008-2010 EPOS:ヨーロッパ小児整形外科医師資格取得

活動:

ÖGO(オーストリア整形外科学会)所属

2015年11月よりパラケルスス・ザルツブルク私立医科大学整形外科および外傷整形外科理事(訓練セミナー、専門試験など)

国際義肢装具士協会 WHO 諮問機関

2002年よりオーストリア義肢装具士協会(ISPO-Austria)会長(1989年より所属)

脊柱側弯症整形外科リハビリテーション治療国際学会(SOSORT)所属

ヨーロッパ小児整形外科学会(EPOS)所属

ザルツブルグ、アッパーオーストリア商工会議所、義肢装具士マイスター資格試験官

臨床研究:

LLC-PK1培養におけるアンモニア生成:アミノ基転移の役割

脊柱側弯症の保存療法指針(SOSORTガイドライン) Weiss HR, Negrini S, Rigo M, Kotwicki T, Hawes MC, Grivas TB, Maruyama T, Landauer F. Stud Health Technol Inform. 2008;135:164-70.

オーストリア国内の新生児股関節形成異常の診断と治療における臨床検査単体時と比較したユニバーサル超音波スクリーニングの費用対効果 Thaler M, Biedermann R, Lair J, Krismer M, Landauer F.

J Bone Joint Surg Br. 2011 Aug;93(8):1126-30. doi: 10.1302/0301-620X.93B8.25935. その他多数

著書:

\*オーストリアの新生児股関節形成異常の診断と治療における、臨床検査単体と比較したユニバーサル超音波スクリーニングの費用対効果(仮題) Thaler M, Biedermann R, Lair J, Krismer M, Landauer F. J Bone Joint Surg Br. 2011 Aug;93(8):1126-30. doi: 10.1302/0301-620X.93B8.25935.

\*青年期の病的肥満には四肢遠位のアライメント不良のタイムリーな診断が重要(仮題) Landauer F, Huber G, Paulmichl K, O'Malley G, Mangge H, Weghuber D. Obes Facts. 2013;6(6):542-51. doi: 10.1159/000357280.

\*外反扁平足における関節固定術の術後ケア(仮題) Henhapl A, Landauer F, 1/14: 36-41

\*特発性側弯症治療の進歩(仮題) F. Landauer, A. Henhapl OT 4/14: 2-6

\*脊椎愁訴における機械的基準を考慮した矯正装具の適応 Landauer F., Riedl M., Vanas K. OT 9/15: 2-6

その他多数

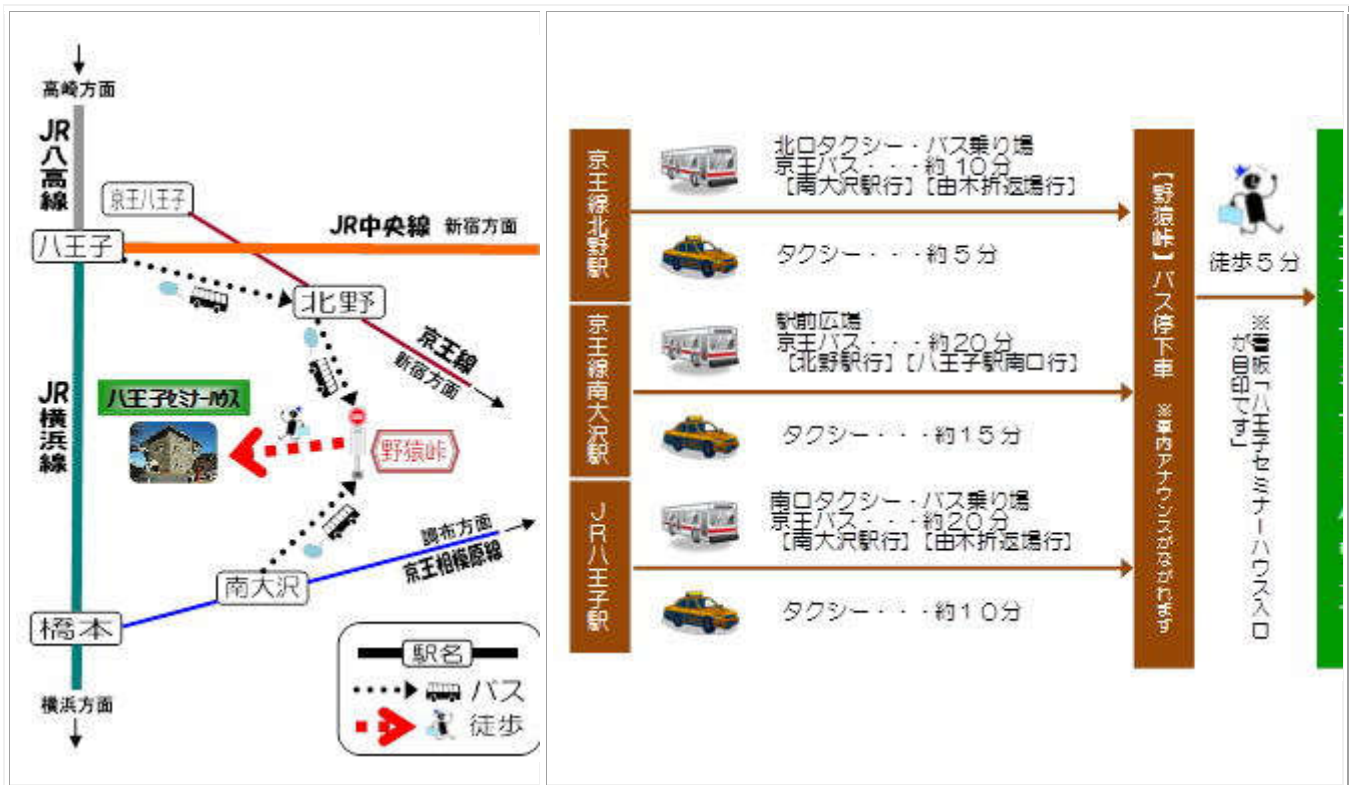
# 会場案内

開催日：2020年3月14日(土)、15日(日)



## JR 八王子駅、または京王北野駅より

京王バス、いずれのバスも「野猿峠(やえんとうげ)」停留所で下車ください。



時刻表・運賃は京王バスナビをご覧ください。

交通案内 <http://www.seminarhouse.or.jp/access/index.html>

公益財団法人 大学セミナーハウス

〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1

TEL : 042-676-8511 (代表)

# 参加申し込みフォーム

整形外科上級医師 フランツ ランダウアー医学博士による

## 「診断と目的を持った治療のための可視化」

“実例を用いた体内、体外画像を組み合わせることで深まる理解”

お申し込みは e-mail または FAX にてお願い致します。

E-mail: [hmsapere-seminar@yahoo.co.jp](mailto:hmsapere-seminar@yahoo.co.jp) (申込書と同内容でしたらフォームなしでも結構です)

Fax: 0261-62-9919 (下記申込書にご記入下さい)

<b>「診断と目的を持った治療のための可視化」セミナー：東京 八王子</b>	
<small>フリガナ</small> 氏名:	
所属:	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
住所: 〒 (              )	
TEL:	FAX:
職業:	
E-mail:	
懇親会:    参加              不参加    (どちらかに○をつけて下さい)	
宿泊のご希望: あり なし    朝食: あり なし (ご希望に沿えない場合もあります)	
今回のセミナー内容に対するご要望があればお書き下さい。検討させていただきます。	

お問い合わせは HM SAPERE 担当:ハーゲン愛美までお願い致します。

メール [hmsapere-seminar@yahoo.co.jp](mailto:hmsapere-seminar@yahoo.co.jp) または Tel: 090-1865-6917

お申し込み頂いた方には受付確定の e-mail または FAX をお送り致します。こちらからのご案内後、指定銀行口座へ受講料をお振込み下さい。お振込手数料は各自ご負担頂きます様お願い致します。